

資料5

ライフスタイルイノベーションWG 報告資料 ～あきたシェアキッチン・コミュニティサイクル～

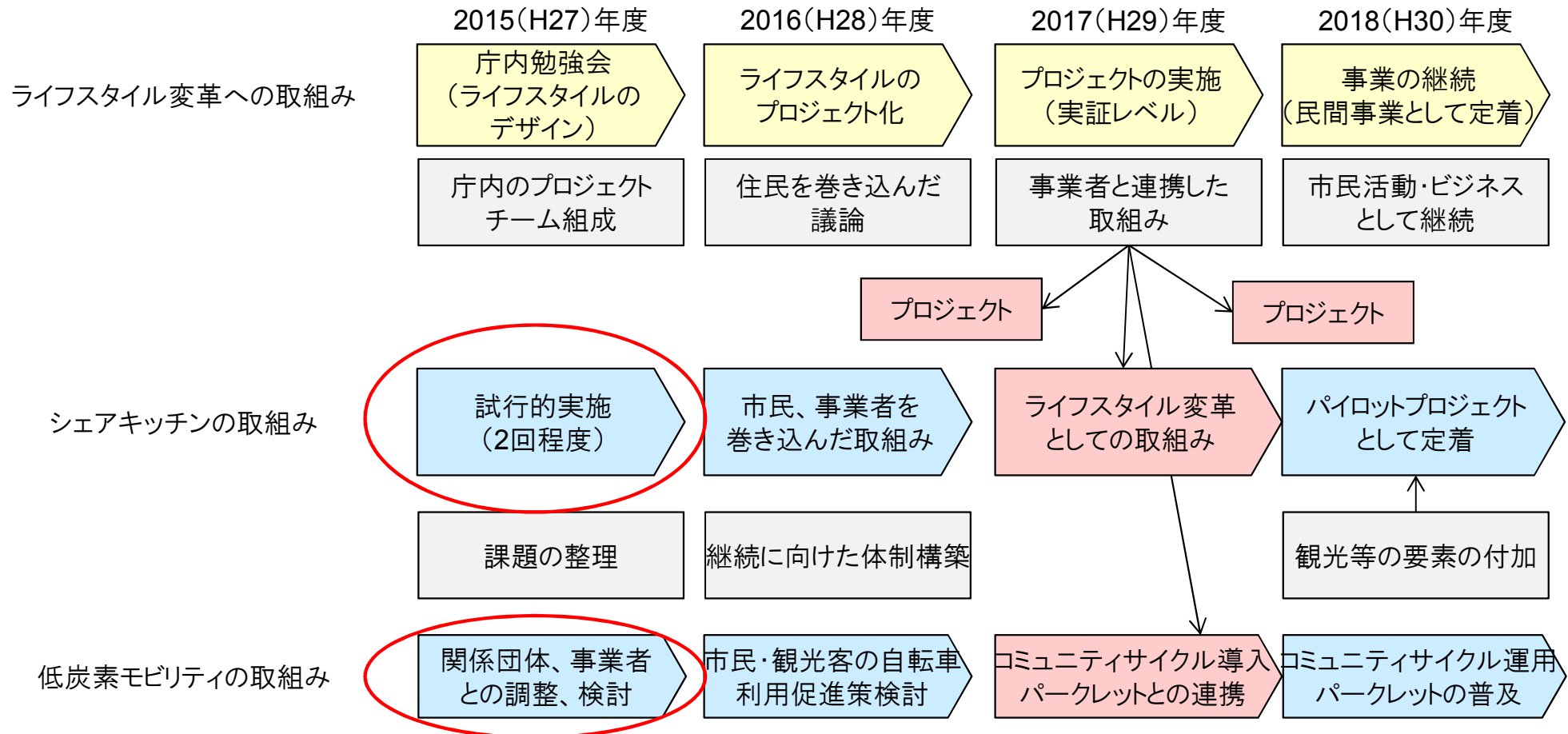
第14回あきたスマートシティ・プロジェクト推進協議会

場所: 秋田市環境部 大会議室

平成27年10月27日(火)

1 ライフスタイル変革としての「シェアキッチン」「コミュニティサイクル」

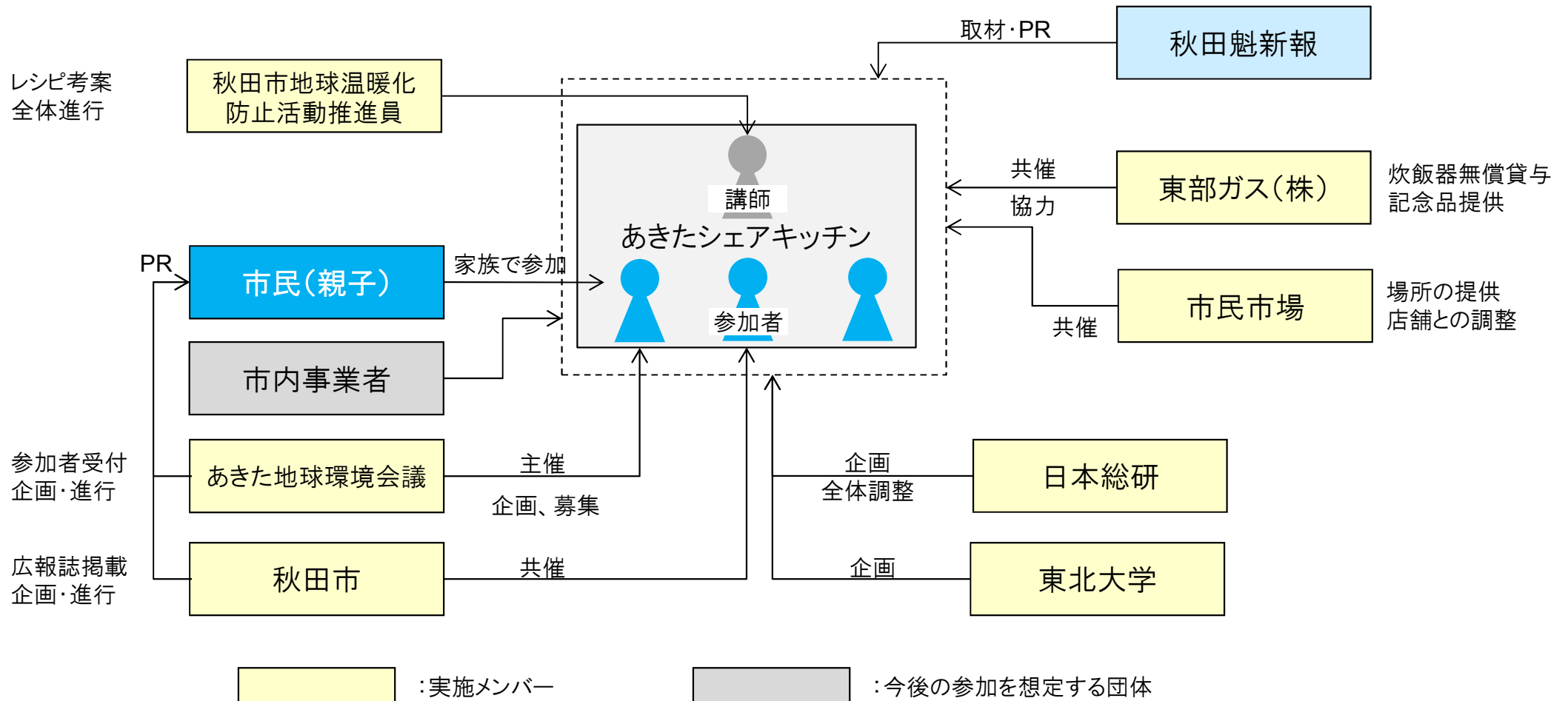
- 市民のライフスタイルの変革を実現する取組みとして、シェアキッチンとコミュニティサイクル(低炭素モビリティ)を位置づける。
- 来年度から市民、事業者を巻き込んだ取組みを行うことを目指し、今年度は主に関係者との連携体制の構築、運営上の課題の確認を主眼に、シェアキッチンを試行的に実施した。



2 第1回シェアキッチン概要

・「あきたシェアキッチン」によるクール・ウォームシェアの実施

- 夏期・冬期に市民の街なか滞留を促進し、自宅での冷暖房稼働時間を短縮させる。
- 地元産食材への理解の促進、低環境負荷型生活(調理)の啓発。



3 第1回シェアキッチン実施内容

• 2015年9月26日(土) 10:00～ 実施

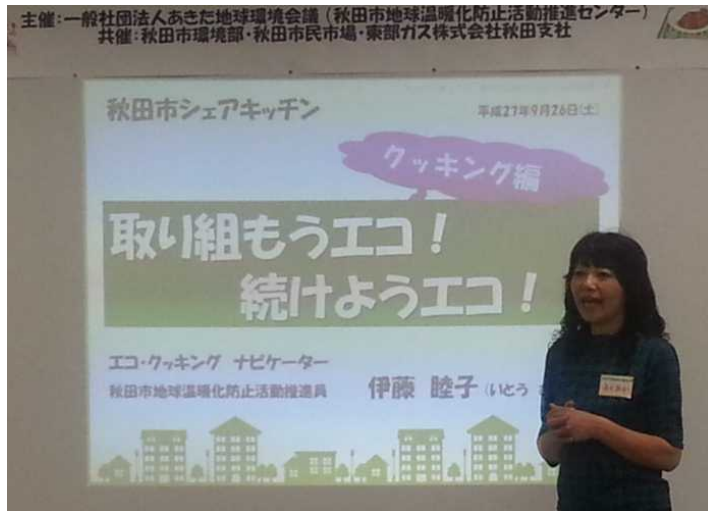
- ターゲット(参加者)は秋田市内の「家族」とした。親子という制約は設けなかったが、母子、父子(女兒)、父母子(男女)など、参加者はすべて親子であった。
- いろいろな人が集まって料理を作る(キッチンのシェア)、地産地消などの環境教育を主な目的とし、料理教室的な内容は少なくし、調理も野菜のカットのみとした。
- 参加者が市民市場で食材を購入し、販売者とのコミュニケーションを図ることにより、旬の食材、食材の流通などを学習した。
- 事業の効果、課題、次回以降の方針を検討するため、アンケートを実施した。

| 項目 | 内容 |
|---------------|-------------------------------|
| 実施日時 | 2015年9月26日(土) 10:00～13:00 |
| 実施場所 | 秋田市民市場 2階ホール |
| 参加対象者 | 秋田市在住の家族(小学生以上の子ども含む) |
| 参加者数 | 5家族11名 |
| 料理 | キーマカレー |
| 参加団体の 主な役割 | あきた地球環境会議 主催、募集、当日企画(クイズ、バッジ) |
| | 東部ガス 炊飯器無償提供・設置 記念品寄付 |
| | 伊藤氏 レシピ検討、調理指導、ファシリテート、環境教育 |
| | 秋田市 募集支援(広報誌掲載)、司会、エコアちゃん |
| | 日本総研、アイ・エム・サービス 実施支援 |

タイムテーブル

| 時間 | | 内容 |
|-------|-------|---------------------|
| 9:30 | 10:00 | 受付 |
| 10:00 | 10:30 | 開会 挨拶、シェアキッチンの説明 |
| 10:30 | 11:00 | 食材購入(店舗にて食材の説明を受ける) |
| 11:00 | 11:30 | 調理(主に野菜のカット) |
| 11:30 | 12:00 | 環境クイズ |
| 12:00 | 12:30 | 試食 |
| 12:30 | 13:00 | 片付け、アンケート記入 |
| 13:00 | | 閉会 記念写真撮影 |

4 第1回シェアキッチン実施風景



あきた地球環境会議事務局 長 福岡真理子氏 による挨拶 (左)

秋田市地球温暖化防止活動推進員 伊藤睦子氏 による環境にやさしい調理方法の解説 (右)



【食材購入】
市民市場で食材を購入
購入時に食材の説明を受ける



【調理風景】
それぞれ担当の食材(野菜)を決め親子で調理



【試食】
みんなで作ったカレーを試食

(写真) 秋田市環境部、シェアキッチン事務局

5 アンケート用紙

アンケート用紙(1家族1枚)

アンケート用紙(子ども用)

あきたシェアキッチンアンケート

このたびは、あきたシェアキッチンへご参加いただきましてありがとうございます。本イベントは、秋田市民の環境意識の醸成を目的としております。ご参加皆様のご意見を、今後の環境行政に役立てたいと考えておりますので、アンケートにご協力いただきますようお願いいたします。

アンケートはこのアンケート(表裏)とお手帳用がございます。お手数ですが、本日後、両方ご記入いただき、併りにスタッフにお渡ししてください。

平成27年9月26日
あきた地球環境会議
秋田市環境部

【質問】

1. → 本日ご参加いただくにあたって期待されていたことはなんですか。
(特に期待されていたこと1つだけ)

| | |
|---|------------------|
| a→子どもが昨日を楽しく過ごせる。 | b→親子の環境意識が高まる。 |
| c→子どもが料理を覚える、料理が好きになる。 | d→子どもが家に帰る。 |
| e→他の親子と仲良くなる。 | f→特に期待していたことはない。 |
| g→その他(□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□) | |

2. → 本日参加された感想をお聞かせください(あてはまるものいくつでも)

| | |
|--------------------------------------|--------------------------|
| a→親子で料理を作ることができて楽しかった。 | b→他の親子と知り合いになれて楽しかった。 |
| c→食材の流通を知ることができた。 | d→環境にやさしい料理方法を知ることができた。 |
| e→子どもが環境に興味を持つようになりよかった。 | f→子どもが料理に興味を持つようになりよかった。 |
| g→子どもが家に帰るようになった。 | h→食材の産地産地を学ぶことができた。 |
| i→特に感想はない。 | j→その他(暮らしたことを含む) |
| (□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□) | |

3. → 今後親子を対象としたイベントが開催された場合、どのようなイベントであれば参加を希望しますか(あてはまるものいくつでも)

| | |
|--------------------------|---------------------------------|
| a→今回同様、料理作りを主とした環境学習 | b→料理に特化したイベント(料理教室) |
| c→環境に特化したイベント(親子学習会等) | d→他の親子との交流が促進されるイベント |
| e→家族全員(父、祖父母等)も参加できるイベント | f→居住地域の交流が促進されるイベント |
| g→特にない(□ または□ 書えていない) | h→その他(□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□) |

次ページもあります。ご協力お願いします。

4. → 本日も場までの交通手段を教えてください(あてはまるもの1つだけ)

| | |
|---|-----------|
| a→自家用車(自分で運転して) | b→バスまたは鉄道 |
| c→自家用車(家族または他人の運転で) | d→タクシー |
| e→徒歩 | f→自転車 |
| g→その他(□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□) | |

5. → 本日ご参加されていない同居のご家族はいらっしゃいますか(どちらか一方)

| | |
|-------------|-------|
| a→いる(□□□□)名 | b→いない |
|-------------|-------|

6. → 5. で「a. いる」とご回答の方のみお答えください(□□□□のようなイベントであれば、同居のご家族全員で参加されたでしょうか(あてはまるものいくつでも))

| | |
|----------------------|---------------------------------|
| a→時間帯が重なっていれば参加できた。 | b→料理がテーマでなかったら参加できなかった。 |
| c→未就学児が参加可能な参加でよかった。 | d→場所が近かったら参加でよかった。 |
| e→家族全員が参加することは嬉しい。 | f→家族全員で参加したいとは思わない。 |
| g→家族全員が参加できると思わなかった。 | h→その他(□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□) |

7. → 本日のイベントに関するご意見、秋田市の環境行政に関するご意見などご自由にお書きください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

本アンケートおよびあきたシェアキッチンに関するお問合せは下記までお願いします。
秋田市環境部環境総務課 □ 担当：佐藤、津田


電話 018 (863) 6633
email : rc-wrm@city.akita.jp

改ページ

あきたシェアキッチンアンケート(お子さま用)

さようば、あきたシェアキッチンへ来てくれてありがとうございました。
さようばのしかったこと、ためになったこと、かんじたこと、なんでもかいてください。

ご家族の方へ：お子さまに今日の感想を自由に書いていただき、お帰りの際にスタッフにお渡しください。



またきてね！

エコアちゃん□□□□

6 アンケート回答(1)

- ・ 申込時にはそれほど環境に対する意識はなかったが、イベントを通じて環境への意識が高まったことがうかがえる。
- ・ 会場までの交通手段の低炭素化は今後の課題。

| 質問項目 | 人数 |
|----------------------------------|----|
| 1. 本日ご参加いただくにあたって期待されていたことはなんですか | |
| 子どもと休日を楽しく過ごせる | 2 |
| 親子の環境意識が高まる | 1 |
| 子どもが料理を覚える、料理が好きになる | 1 |
| 子どもが食に関心を持つ | 1 |
| 他の親子と仲良くなる | 0 |
| 2. 本日参加された感想をお聞かせください（複数回答あり） | |
| 親子で料理を作ることができて楽しかった | 4 |
| 他の親子と知り合いになれて楽しかった | 0 |
| 食材の流通を知ることができてためになった | 3 |
| 環境にやさしい料理方法を知ってためになった | 1 |
| 子どもが環境に関心を持つようになりよかった | 2 |
| 子どもが料理に興味を持つようになりよかった | 1 |
| 子どもが食に関心を持つようになりよかった | 2 |
| 食材の地産地消を学ぶことができた | 3 |

| 質問項目 | 人数 |
|--|----|
| 3. 今後親子を対象としたイベントが開催された場合、どのようなイベントであれば参加を希望しますか（複数回答あり） | |
| 今回同様、料理作りを通じた環境学習 | 4 |
| 料理に特化したイベント(料理教室) | 1 |
| 環境に特化したイベント(親子見学会等) | 2 |
| 他の親子との交流が促進されるイベント | 1 |
| 家族全員(父、祖父母等)も参加できるイベント | 1 |
| 居住地域の交流が促進されるイベント | 2 |
| 4. 本日会場までの交通手段を教えてください | |
| 自家用車(自分で運転して) | 3 |
| 自家用車(家族または知人の運転で) | 1 |
| バスまたは鉄道 | 0 |
| 徒歩、自転車 | 0 |

6 アンケート回答(2)

| 質問項目 | 人数 |
|---------------------------------|----|
| 5. 本日まで参加されていない同居のご家族はいらっしゃいますか | |
| いる | 3 |
| いない | 1 |

| 質問項目 | 人数 |
|--------------------------------------|----|
| 6. どのようなイベントであれば、同居のご家族全員で参加されたでしょうか | |
| 時間帯が違っていれば参加できた | 1 |
| 家族全員が参加することは難しい | 1 |
| 家族全員が参加できるとは思わなかった | 1 |

| 自由回答 |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 自分なりに環境に良いと思うことをしていたつもりだったけど、出来る事はもっとたくさんあるということを知りました。 非常においしかった。たのしかった。 これからも続けていってほしい。 楽しかったです。親子で買物もでき、料理やクイズもできて、とても楽しみながら勉強できました。カレー、とてもおいしかったです。 |

| 自由回答(子ども用) |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 今日、包丁を使っているときが一番楽しかったです。ナスをうまく切れたのでよかったです。 ほうちょうをつかったこと。 やさいのとれる時期が分かってよかった。 |

【分析】

- サンプルは5家族と少ないが、申込時には環境に関する意識がそれほどなかった参加者が(質問1)、環境に関する説明、食材の購入、調理、クイズ等を通じて環境意識や、食材の地産地消に対する意識を深めていったことが分かる(質問2、質問3)。
- イベント自体は楽しいものであったと評価されているため(質問2、自由回答)、PR方法を工夫すれば、同様のイベントをある程度まとまった人数で開催することが可能であると思われる。
- 会場までの交通手段がほぼ自家用車であること(質問4)、全員が参加していない家族が多いことから(質問5)、クール・ウォームシェアの目的も含める場合は、募集方法に工夫が必要である。

7 新聞報道

- 翌週の秋田魁新報にて「あきたシェアキッチン」が紹介された。



あきたシェアキッチン 節水、節電心掛け料理

市民市場 親子6組が挑戦

環境に配慮した調理法を学ぶ教室「あきたシェアキッチン」が26日、秋田市市民市場で開かれた。市内の親子6組が参加し、節水や節電を心掛けてカレーライス作り

環境に配慮した調理法を学ぶ教室「あきたシェアキッチン」が26日、秋田市市民市場で開かれた。市内の親子6組が参加し、節水や節電を心掛けてカレーライス作り

環境会議（秋田市）や秋田市などが、環境に優しい都市づくりを目指す市の「あきたスマートシティ・プロジェクト」の一環で初めて企画した。

講師を務めたのは、秋田市地球温暖化防止活動推進員の伊藤睦子さん（54）。省エネや、生ごみの量を抑えることなどを心掛けるエコ・クッキングのポイントとして▽野菜は皮や芯まで食べられるように調理する▽余熱で火を通す▽食器は汚れを拭いてから洗うことなどを紹介した。

続いて、エコバッグを手に市場内でニンジンやトマトなどの食材を調達。参加者はニンジンを皮ごとみじん切りにして生ごみの量を減らしたり、熱効率を上げるために鍋底の水気を拭き取ってから火にかけてたりして、エコ・クッキングを実践していた。

参加した大友璃（り）は「エコバッグを使って市場内で食材を調達した



皮を薄く切ってエコ・クッキングに取り組む親子

「包丁を使って野菜を切るのが楽しかった」と言い、母祐子さん（38）は「ちよっと工夫するだけで、調理も立派なエコ活動になるのだと学んだ。家庭でも生かしたい」と話した。（千葉園子）

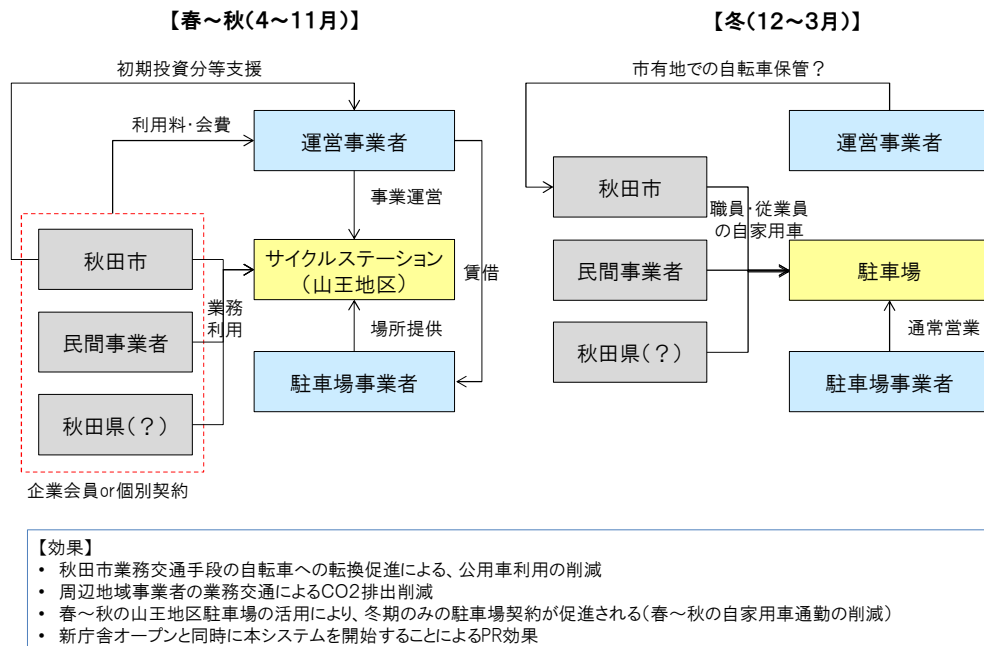
8 次回シェアキッチン企画案

- 親子を対象としたシェアキッチンは、家族全員の参加、会場までの交通手段などの課題が整理され、試行的取組みの目的はある程度実現した。
- 今年度第2回目は、環境意識の醸成と、地域コミュニティの形成が求められる若年層(20～30代)を対象としたシェアキッチンを実施したい。
 - 一人暮らしまたは子育て前世帯(特に共働き)を対象に、地産食材を使った簡単な料理の作り方と、忙しい毎日でも容易に実行できる環境行動をレクチャーする。
 - なるべく公共交通機関を利用した来場を促すため、秋田県産の日本酒を提供する。
 - 若年層の環境に対する考えについてもディスカッションしたい。
- **検討事項**
 - 会場 飲酒を伴うため会場選定に制約が出る可能性がある。公共交通機関でアクセスしやすい場所。
 - 協力団体 秋田市内(県内)の酒蔵に協力を求める。
 - 時間帯 夕方から開催
 - 参加者募集 ターゲットを絞った募集が必要(広報誌掲載とするか)

9 コミュニティサイクル検討

- 市民の足(日常利用)、業務利用、観光利用など多方面に活用が期待される「コミュニティサイクル」導入の検討を実施。
- 市民の日常の交通手段の転換(ライフスタイルの変革)、公用車・社用車の利用の一部を自転車に転換(ワークスタイルの変革)、観光客の移動手段(エコツーリズム促進)などの効果が考えられる。
 - 日常利用と業務利用は同じ事業スキームとし、観光利用と2パターンの事業スキームを設定した。
 - 既存レンタルサイクル事業者、旅行代理店、交通事業者で協議体を構成し、来年度以降検討を開始する予定。

サイクルシェア（共用業務利用パターン）



サイクルシェア（観光目的パターン）

